



TAIHOKU GROUP  
大北土建工業・山伏パコム

令和6年度

大北土建工業 山伏パコム

# 「育成社員」 募集のお知らせ

学び、働ける。

## 大北グループ「育成社員制度」とは？

大北グループで採用後、「札幌工科専門学校 環境土木・造園  
施工管理科、環境土木コース」(1年制)へ通学し、専門知識  
の基礎を身につけていただく制度です。卒業後は、大北グループにて正  
社員として雇用いたします。

育成社員ブログはこちら  
制度利用を検討中の  
方は要チェック→



大北土建 育成社員ブログ 検索

### [学校卒業から正社員雇用までのフロー]



※高校新卒の方は学校を  
通じてご確認ください。

### [大北グループ育成社員のメリット]

- ✓ 学校に係る費用すべて会社負担
- ✓ 授業料年間 95 万円を全額会社負担
- ✓ 基本下宿料年間 60 万円を全額会社負担  
※下宿に伴う、電気 / ガス / 水道料金は自己負担となります。
- ✓ 専門学校在学中、一般社員と同じ給与、  
基本給 **188,000** 円/月を支給  
(手取り平均：15 万円以上)

※奨学金とは違い、返済義務はありません。

### [専門学校卒業後に正社員として働く]

育成社員制度の大きな特徴は  
専門的な知識を学んだ後に正規雇用が  
保証されている安心な制度です。

育成社員制度には札幌工科専門学校卒業後  
に正社員への道が準備されています。  
育成社員から正社員になった場合の年収は  
**340** 万円 / 年となります。(詳細は裏面へ)

[入社実績] 大北土建工業 11 名・山伏パコム 6 名 (2015 年制度開始からの累計人数)



[大北グループ代表]

大北土建工業株式会社

北海道富良野市本町 8 番 1 号  
TEL.0167-23-1111 FAX.0167-23-1116  
HP.http://www.taihoku-group.co.jp





大北グループの  
仕事について



道路造成・工事に関する仕事例



与えられた設計図から実際に工事をするを施工と呼びます。技術者が行う仕事では施工管理、と呼ばれています。

設計図について現地を測量し確認、実際の施工計画についてまず検討をします。 施工計画では工事のスケジュールを組み、そのスケジュールに沿った作業員や重機の手配、必要資材の確保・運搬、不要な作業で費用に無駄がないか、など多くの事を計画しながら工事を進めます。工事現場では設計図に基づいた位置に施工を進める管理、当日の工事スケジュールの説明・指示、危険作業への注意、現場で発生する技術的課題の解決をしながら施工します。

**【施工担当】**  
**大北土建工業**

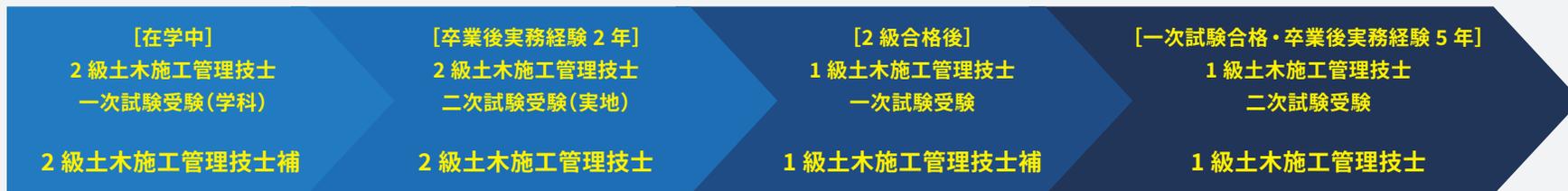


道路も傷ついていき、やがて人や車が走れなくなると、道の役割を果たせません。そこで維持舗装という作業をします。夏には除草や掃除を、冬には除雪を行い安全に走行できるよう作業を行います。春には氷結と融解を繰り返してヒビや穴が広がった道路の補修も行います。

新しくできた道路にアスファルトを敷くことを舗装と言いますが、新しく作られた道路だけではなく、古くなって補修跡が多くなった道路の舗装をはぎ取り再度綺麗にする仕事も行います。

**【維持舗装担当】**  
**山伏パコム**

**[キャリアプラン]**



**育成社員と正社員雇用の収入面での違い**

「育成社員」

□基本給：188,000円/月  
(正社員と同じ給与)

「正社員雇用(育成社員終了後)」

- 基本給：188,000円~/月
- 資格手当(実務経験2年：最短21歳)
  - 2級土木施工管理技士取得 +2,000円
  - 2級舗装施工管理技術者取得 +2,000円
- 資格手当(実務経験5年：最短24歳)
  - 1級土木施工管理技士取得 +5,000円
  - 1級舗装施工管理技術者取得 +5,000円
- 賞与(年3回)
  - 基本給の3.5か月分/年、予想利益による期末上乗せ賞与
  - R4年実績 年間合計12か月分

※基本給188,000円、資格取得最短年齢は高校を18歳で卒業後、すぐに育成社員として入社した場合

※当社入社決定後、札幌工科専門学校への入学選考(学力検査/作文/個人面接)があります。特に数学の素養が必要。  
 ※育成社員期間の勤務時間等は、札幌工科専門学校の授業時間となります。ただし、学校の夏季休暇・冬季休暇等の長期休暇については、実際の作業現場にて働いていただきます  
 ※「年収340万円」は上乗せ賞与3か月とした場合の数字です。188,000円×(12か月+3.5か月+3か月)

